

# 異分野学術連携による地域歴史資料の 情報資源化に向けた取り組み

—「ためる」と「つかう」を対にして—

## Utilization of Japanese Local Historical Records Based on Academic Collaborations



**堀井 洋**

知識科学研究科

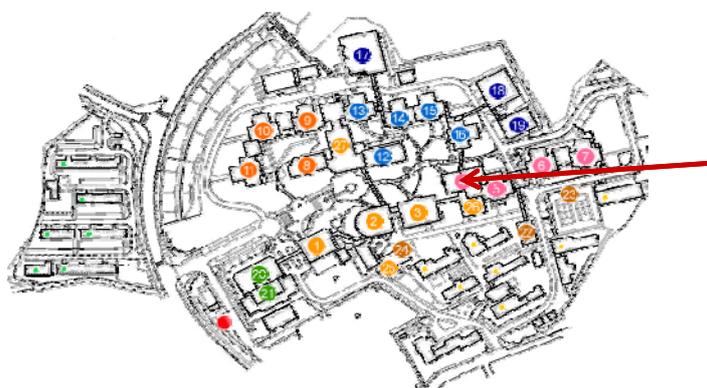
2011 **3/2** 12:40 – 13:20

知識科学研究科講義棟 2F K3・4講義室

旧加賀藩領域であった石川県内には、金沢城・兼六園・東山をはじめとする史跡・町並みや、絵図・手紙などの古文書、伝統工芸等、多様豊富な歴史資源が現存しています。これらは、石川県・北陸地域、ひいては日本の文化・歴史を特徴付ける貴重な歴史的・文化的な情報資源ですが、現代社会において活用するためには多く課題をクリアしなければなりません。



異分野研究者による学術プロジェクト「遍（あまね）プロジェクト」では、2010年から「石川県大学・地域連携研究プロジェクト支援事業」において、石川県内の歴史情報資源調査“歴史情報資源イエローページプロジェクト”と歴史資料を活用したイノベーションの創出に取り組んできました。本セミナーではそれらの概要を中心に、歴史資料の情報資源化について紹介します。



冬季の間、開催場所を変更します。K3・4講義室は、知識講義棟2F、学生課の向かいにあります。

学内連携セミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の研究科の方もご来聴下さい。

世話人：： 鶴木、小矢野、橋本、長谷川、戸田、寺倉